

理 学 部 数 理 ・ 自 然 情 報 科 学 科
医 学 部 医 学 科
医 学 部 保 健 学 科

前 期 日 程

平 成 20 年 度 入 学 試 験 問 題

数 学

注 意 事 項

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけない。
2. 解答用紙は問題冊子とは別になっているので、解答はすべて解答用紙の指定されたところに記入すること。また、解答用紙は問題ごとに別になっているので、注意すること。
3. 受験番号を解答用紙の指定されたところへ必ず記入すること。決して氏名を書いてはいけない。
4. この問題冊子は持ち帰ること。

解 答 に あ た っ て の 注 意 事 項

この問題冊子には、理学部数理・自然情報科学科，医学部医学科，医学部保健学科の問題がある。受験者は下の表にしたがって、志望学部学科の問題を解答すること。

学 部	解 答 す る 問 題
理 学 部 数 理 ・ 自 然 情 報 科 学 科	2, 3, 4, 5, 6, 7 の 6 問
医 学 部 医 学 科	3, 4, 5, 6, 7 の 5 問
医 学 部 保 健 学 科	1, 2, 3, 4 の 4 問

1 x についての多項式 $f(x)$ が次の 3 つの条件 (a), (b), (c) をみたすとする。このとき、関数 $y = f(x)$ を求め、そのグラフをかけ。

(a) $f(x)$ は 3 次の多項式で、 $x^2 - x - 2$ で割り切れる。

(b) $f(x)$ の $x = 1$ における微分係数は -3 である。

(c) (a) の商の 0 から 2 までの定積分は -2 である。

2 放物線 $C: y = x^2$ を考える。 $a < b$ をみたす定数 a, b に対して、 x 座標が a, b である C 上の点をそれぞれ A, B とする。 $a < p < b$ をみたす実数 p に対して、 x 座標が p である C 上の点を P とする。三角形 ABP の面積を最大にする p の値と、そのときの面積を求めよ。

3 赤玉 8 個と白玉 4 個の入っている袋の中から、同時に 7 個の玉を取り出す試行について、次の問いに答えよ。

- (1) 白玉が 4 個取り出される確率を求めよ。
- (2) 赤玉が 5 個以上取り出される確率を求めよ。
- (3) 取り出される赤玉の個数の期待値を求めよ。

4 r は正の定数とする。半径 r の円に内接する正三角形 $A_1B_1C_1$ の面積を S_1 とし、正三角形 $A_1B_1C_1$ の内接円 O_1 の面積を T_1 とする。次に、円 O_1 に内接する正三角形 $A_2B_2C_2$ の面積を S_2 とし、正三角形 $A_2B_2C_2$ の内接円 O_2 の面積を T_2 とする。さらに同様の操作を繰り返してできる円 O_{n-1} に内接する正三角形 $A_nB_nC_n$ の面積を S_n とし、正三角形 $A_nB_nC_n$ の内接円 O_n の面積を T_n とする。このとき、次の問いに答えよ。

(1) S_n, T_n を n を用いて表せ。

(2) $U_n = S_n - T_n$ とおく。このとき、和 $\sum_{k=1}^n U_k$ を n を用いて表せ。

- 5 座標平面上に相異なる3点 $A(0, a)$, $B(0, b)$, $C(1, 0)$ をとる。ある行列 P で表される移動によって、点 A , B はそれぞれ点 A' , B' に移り、点 C は動かないとする。そのような行列 P のうち三角形 $A'B'C$ が正三角形となるものをすべて求めよ。

6

対数は自然対数とする。曲線 $C: y = \log x$ 上の点 $P(u, \log u)$ ($u > 1$) における接線、曲線 C 、および直線 $x = 1$ で囲まれた図形の面積を $S_1(u)$ とする。また点 $A(1, 0)$ と点 P を結ぶ線分、および曲線 C で囲まれた図形の面積を $S_2(u)$ とする。 $S(u) = S_1(u) - S_2(u)$ とおくと、次の問いに答えよ。

- (1) 関数 $S(u)$ を求めよ。
- (2) 曲線 $v = S(u)$ の変曲点を求めよ。
- (3) 関数 $S(u)$ はただ1つの極大値をもち、その値は正であることを示せ。

7

曲線 $\frac{x^2}{4} + y^2 = 1$ ($x > 0, y > 0$) 上の動点 P における接線と, x 軸, y 軸との交点をそれぞれ Q, R とする。このとき, 線分 QR の長さの最小値と, そのときの点 P の座標を求めよ。